

## 2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 長久手市立市が洞小学校 ] 担当教諭名 [ 石田 敬子 ] ( 4年 214名 )

相手国・地域 [ エチオピア ]

海外学校名 [ Abiyot Fana Primary School ] 担当教諭名 [ 西田 香奈子(JICA) ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	世界の皆と交流し、世界のことを知り、自分たちの夢を伝えよう	35

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

<b>題 (テーマ)</b>	自分たちの夢を伝えよう
<b>メッセージ</b> (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	自分たちと異なる国に住む人たちのことを知り、自分たちのことも知ってもらうことで、理解し合い、仲良くなることができる。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが、エチオピアに興味をもち、進んでエチオピアのことを調べたり、日本のことを紹介したりすることができた。</li> <li>・エチオピアの子どもたちに対して、温かい心で接することができた。</li> <li>・子どもたちが、自分の生活を見直し、積極的に世界のニュースを聞いたり、調べたりするようになった。視野が広がった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童数が、多いため、壁画に全員の思いを乗せることが難しかった。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エチオピアのニュースや世界の様々な国の話に興味をもち、本を読んだりするようになった。</li> <li>・人種が異なり、人々の生活様式も違うエチオピアだが、好意的にとらえることができた。</li> <li>・エチオピアの大自然に魅了された。</li> <li>・エチオピアは、水や電気、ごみ処理など4年生で学んだインフラが整わない状態であることを知り、自分たちの生活を支える人々に感謝し、もっと大切にしなければいけないと思うようになった。</li> <li>・エチオピアでは、夏休みの子どもの生活が日本と異なり、子守や、家の手伝いをしていることを知り、もっと自分も家の人の役に立つようにしたいと思うようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エチオピアの良さ、日本の良さ、それぞれ違うが、人が幸せに暮らすためには、どんなことが必要なか考えさせられた。</li> <li>・エチオピアの子どもたちの目の輝きと元気の良さ、たくましさを見て、日本の子どもたちにも持ってほしいと思うようになった。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	4月 5月	エチオピアのことを調べる。 エチオピアの子どもたちに自己紹介カードを書く。	エチオピア通信を読み、日本と全く異なる文化に興味を示す。 英語での自己紹介は難しいが、意欲的に取り組んだ。	総合5
共有 テーマ学習	7月	海外校の教師から話を聞く。 相手校の自己紹介カードを受け取る。 職業調べをし、将来の夢について考える。	民族衣装やコーヒーセレモニーの実演、映像からより身近にエチオピアを感じ、さらに興味が沸いたようだ。 世の中には、いろいろな職業があることを知り、自分の夢について考えが深まった。	総合5
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	9月 ～ 11月	下絵を募集する。 海外校と電話会議をする。 日本の紹介をする。 海外校の児童のソーラン節を見て、一緒に踊る。	自分の夢を壁画に描くことに興味を示す。 エチオピアの子どもは、肌の色も髪も日本とは異なると実感し、とても興味をもったようだった。 どんなことを知らせるとよいか、皆で一生懸命考えた。日本文化を改めて知る機会になった。 運動会で踊ったソーラン節を一緒に踊り、一体感ができ喜びが感じられた。	総合15
創造 壁画制作	11月 ～ 1月	壁画を描く。 自己紹介・将来の夢を含むテレビ電話をする。	完成した壁画を見て、皆、大満足である。エチオピアに無事届くか心配していた。 エチオピアの子どもたちと会話ができて、自分たちと同じように夢をもっていると再確認する。	総合5
評価 振り返り 自己評価	3月	活動の振り返りをする。 エチオピアの子どもたちからビデオレターが届く。 エチオピアから送られてきた壁画を鑑賞する。 エチオピアの子どもたちへ、ビデオレターを届けた。	学んだことをマップにしてみると、多くの活動を行ったことに気付き、自分の成長を感じているようだ。 ビデオレターを通して、エチオピアの子どもたちを身近に感じたようだ。 返ってきた壁画と写真を撮り大満足であった。 ビデオレターでの質問に答えたいと積極的に取り組んだ。	総合5

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	5	子どもたちに、班ごとにテーマを決め自分の国を紹介させた。よく考えて、相手に分かりやすくまとめることができた。
異文化を理解する力	4	相手校の教師から、エチオピアの話を知ったり、彼女の発行するエチオピア通信を読んだりしたことで、全く異なる文化であるが、受け入れて、楽しんでいる様子が見られた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	自己紹介や日本紹介、また、相手への質問など、交流を通して、調べて伝えたいという思いをもつようになった。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	子どもたちは、相手国から返事が来ると、自分たちで進んで取り組むことができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	あまり思いつかなかった。
主体的に考え行動する力	4	エチオピアの子どもたちの生活の様子を聞き、自分の生活を見直すようになった、と話す子が多かった。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	異なる文化をもつ人々と交流したことで、学級内での他者への寛容さが見られ、団結力がついたと思う。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	子どもたち自身のメッセージを受け取ったことで、自分たちも伝えたいという思いが強くなった。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	学習についての自己評価の中に、エチオピアとの交流から学んだことが、多く書かれていた。